

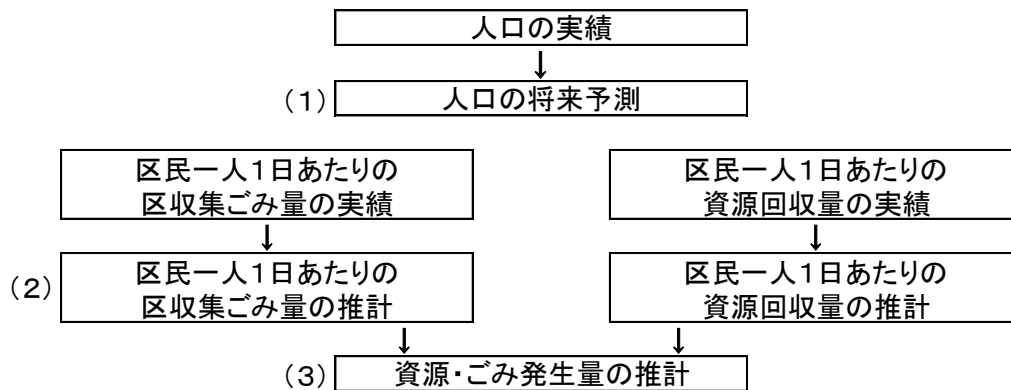
資源・ごみ量の推計について

新計画における目標値の設定にあたり、現行の取組みを継続して実施した場合の資源・ごみ量の推計を行った。推計方法及び推計結果について、以下に示す。

1 推計方法

国が定める「ごみ処理基本計画策定指針（平成28年9月）」を参考の上、過去の実績（平成23年度～27年度）から区民一人1日あたりの区収集ごみ量及び資源回収量を算出し、この実績をトレンド法により将来推計した上で、将来予測人口及び日数を乗じて資源・ごみ量の推計を行った。

<推計の流れ>



(1) 人口の将来予測

「新宿区人口ビジョン（平成28年1月）」の基準推計人口（出生中位・流入中位）の基に、将来予測人口を推計した。なお、2010年国勢調査人口（新宿区人口ビジョンが採用）と2010年住民基本台帳人口（新宿区一般廃棄物処理基本計画が採用）に乖離があったため、乖離分（約△2.1%）を補正することにより、推計値とした。

(2) 区民一人1日あたりの区収集ごみ量・資源回収量

区民一人1日あたりの区収集ごみ量と資源回収量に分けた上で、過去5年間の実績（平成23年度～27年度）を基に、トレンド法による推計を行った。

(3) 区収集ごみ量・資源回収量

上記(2)区民一人1日あたりの区収集ごみ量・資源回収量に、上記(1)将来予測人口及び日数を乗じることにより、区収集ごみ量及び資源回収量を推計した。

【トレンド法とは】

過去の実績に回帰式を当てはめ、実績値の延長線上に予測値を設定する方法。
なお、回帰式当てはめにあたっては、以下の点を考慮した。

- ・ 極端な増減傾向を示さないこと
- ・ 回帰式の当てはまりが良いこと（係数（＝相関関係）が大きな値を示すこと）

2 推計結果

(1) 将来予測人口（各年度の1月1日現在）

区の総人口は、今後増加傾向が続くことが予測される。平成39年度には約36.5万人になり、平成27年度に比べ12年間で約3万人増加する見込みである。

(2) 区民一人1日あたりの区収集ごみ量・資源回収量

区民一人1日あたりの区収集ごみ量は、592g/人日から548g/人日となり、44g/人日減少する見込みである。また、区民一人1日あたりの資源回収量は、165g/人日から158g/人日となり、7g/人日減少する見込みである。

(3) 区収集ごみ量・資源回収量

計画最終年度の平成39年度では、平成27年度に比べ区収集ごみ量が677t、資源回収量が908t増加し、総量として1,585t増加する見込みである。

(4) 資源化率

資源化率は、21.8%から22.4%となり、0.6ポイント上昇するが、計画期間を通してほぼ横ばいで推移していく見込みである。

<推計結果一覧>

| | | 実績値 | | 推計値 | |
|----------------------|--------|---------|---------|---------|---------|
| | | 平成27年度 | 平成30年度 | 平成34年度 | 平成39年度 |
| 総人口 | (人) | 334,193 | 350,255 | 359,633 | 364,912 |
| 日数 | (日) | 366 | 365 | 365 | 366 |
| 区民一人1日あたりの 資源・ごみ量 | (g/人日) | 758 | 733 | 719 | 706 |
| 区民一人1日あたりの 区収集ごみ量 | (g/人日) | 592 | 571 | 559 | 548 |
| 区民一人1日あたりの 資源回収量 | (g/人日) | 165 | 162 | 160 | 158 |
| 資源・ごみ量 | (t/年) | 92,671 | 93,683 | 94,348 | 94,256 |
| 区収集ごみ量 | (t/年) | 72,459 | 72,988 | 73,354 | 73,136 |
| 資源回収量 | (t/年) | 20,212 | 20,695 | 20,994 | 21,120 |
| 資源化率 | (%) | 21.8% | 22.1% | 22.3% | 22.4% |

<区民一人1日あたりの区収集ごみ量と資源化率の推移（現計画目標）>

